

【事業名】 大阪狭山市クビアカツヤカミキリ対策事業
～市の木「さくら」を守り、大阪府南河内地域の生物多様性の保全へ～

大阪府 大阪狭山市

事業の背景・目的

平成27年に大阪狭山市北部でバラ科の樹木を主に食害し、枯死させる「クビアカツヤカミキリ」の生息が大阪府内で初めて確認され、市内公共施設を中心に年々被害を拡大しつつある。今後、被害を拡大させないため、行政、市民、事業者、関係機関等と連携した対策をすることで、個体の防除と生息域の封じ込めに努め、市の木「サクラ」を守り、大阪府南河内地域の生物多様性の保全へ繋げていく。

事業の内容

①防除対策連絡会を設置
所管施設等でサクラを管理する部署を中心に「大阪狭山市クビアカツヤカミキリ防除対策連絡会議」を開催し、被害状況や対策等の情報等を共有した。
また、大阪狭山市造園緑化協会と連携し、被害木への薬剤注入、ネット設置、伐採等の対策を行った。

②防除対策事業
被害状況調査を行い、被害が確認されたサクラの状況に応じて、薬剤注入やネット設置、伐採を行った。また、「被害防止重点区域」に位置付けている狭山池公園エリアのサクラ全数調査をクビアカツヤカミキリ発生時期の前後に2回実施した。

③情報発信及び普及啓発
既存のチラシに加え、新たにポスターや啓発看板を作成し、大阪府と共同で「被害防止対策重点区域」である狭山池公園で啓発活動を行った。また成虫発生時期に大阪府、大阪狭山市造園緑化協会、市民と連携し狭山池公園周辺の成虫捕獲活動を実施し、被害状況や防除方法等の啓発を行った。大阪府主催の連絡会議等では直接近隣自治体と被害状況や効果的な対策方法等の情報共有を行い、広域的な防除対策に取り組んだ。

得られた成果

採択いただいた本事業により、令和2年度に右記のとおり当初の目標値を大きく上回る実績を上げることができたが、当初の想定よりも急速にクビアカツヤカミキリの被害が拡大しており、継続して防除対策を行う必要がある。今後は、すでに被害を受けているさくらの枯死が進み、これまでよりも伐採本数が増えると予想される。本事業終了後も被害状況に応じて防除対策を進めるとともに、引き続き事業者を含めた関係者、市民等に対して情報発信及び普及啓発を実施する。
市域だけでなく、より広域的・効果的な対策が実施できるように近隣自治体と発生状況や実施対策等の情報を共有し、連携した防除体制の整備を図る。

| 目標の項目 | 当初目標値 | 達成予定年次 | 令和2年度実績値 |
|----------------|-------|--------|-----------------------------------|
| 市民等と協力した成虫捕獲活動 | 1回 | 令和2年度 | 2回 |
| 近隣市町村との連絡会議 | 1回 | 令和2年度 | 4回 |
| 被害対策する樹木の本数 | 200本 | 令和2年度 | 360本に薬剤散布やネット設置、伐採 1,503孔に薬剤注入 |